

科目名	教科書名	副教材名
高3 特進理系 化学研究	新編化学基礎 化学 (東京書籍)	セミナー化学基礎+化学 (第一学習社) 化学重要問題集 化学基礎・化学 (数研出版) フォトサイエンス化学図録(数研出版)

1. 授業のねらい

- ① 大学入試過去問題等を解いていく中で、高校化学全体に渡る計算・知識の総整理を行う。
- ② 体系的な計算法を学ぶことにより、問題に共通する論理を捉え解答作成に活かしていく。

2. 授業のすすめ方

- ① 知識問題の確認テスト (冒頭の約5分間)
- ② 各分野の典型的な計算問題を取りあげ、問題の構造や解法の糸口の捉え方を解説する。
- ③ 授業では、関連事項や解法・選択肢が誤っている理由などについて順番に質問をしていく。十分な回答ができるように準備をしておくこと。

3. 学習上の留意点

- ① 授業の進度に関わりなく、各自で教科書や問題集・Classi 等を利用して全範囲の基本的な知識の確認をしておくこと。
- ② 問題集は各自で進めておくこと。

4. 副教材・参考文献

セミナー化学基礎+化学 (第一学習社)
化学重要問題集 化学基礎・化学 (数研出版)
フォトサイエンス化学図録(数研出版)

5. 評価方法

以下のように、定期考査・授業や課題への取り組み・提出物・演習テストなどにより、総合的に評価する。

- ① 定期考査は、各回100点満点の問題で、1学期中間・1学期期末・2学期期末の3回実施し、その得点を評価する。
- ② 平常点は、1学期20点満点、2学期20点満点で、授業(質疑応答)への取り組み・提出物・小テストなどで評価する。
- ③ 提出物の期限は厳守すること。

年間の計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月 五月 六月 七月	<p>■一学期</p> <p>(1) 確認テストによる復習 原子・周期表・結合・身近な物質など 無機物質（非金属，金属）など</p> <p>(2) 体系的計算法① 物質量・濃度・気体・水溶液 酸塩基・酸化還元・電池電解 熱化学方程式・速度・平衡</p> <p>(3) 有機化学 分離・分子式・異性体 アルコールを中心とした反応 ベンゼンから始まる反応</p>	授業中に関連事項を順番に質問するので，それに対する応答を見る。	<p>□Classi を用いた化学の基本問題演習 家庭の PC 等で Classi を用いて，高校化学全範囲の基本問題を解き知識等の確認を行う。</p> <p>分野別に問題を解く中で，自分の弱点とする部分を発見し，補強する。</p> <p>計算問題の構造を捉え 立式ができるようになる。</p> <p>有機化学（標準問題）の解答が作成できる。</p>
二 学 期	九月 十月 十一月	<p>■二学期</p> <p>(4) 体系的計算法② テーマ別問題</p> <p>(5) 高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物</p> <p>*電子黒板を用いて， 問題に関連する事項を視覚的にも確認する。</p>	授業中の質疑応答や小テスト等で評価。	計算問題の分野が異なっても，同じ論理で対処できるようになる。
三 学 期	一月 二月 三月	■特別編成授業		